

リーダーにつける薬

■「怠けもの(面倒くさがりや)」は仕事ができる

いろいろな方々とお話をしている、あることに気付きました。それは、「怠けもの」と言うときみなさんに失礼なので、ある意味「面倒くさがりや」という言い方ができるのかもしれませんが(どちらの言い方をしても失礼ですね(笑))、この手のタイプの人は「仕事ができる人が多いな」という感じがします。

もちろん、「怠けもの」や「面倒くさがりや」だけではただのアン・ボン・タンになってしまいますので、「面倒くさがりやで目的・目標思考の人に限って、仕事ができる」ということです。

面倒くさがりやなのに目的・目標思考の強い人は、

- ・ 効率を求めます。少ない労力で最大の結果が出せるように考えて努力します。いち早く自分が何もやらないで済むようにするための努力は惜しみません。
- ・ できれば自分では何もやらなくて済むように、部下を一生懸命育てます。
- ・ 同じことをするなら短時間で済ませようとするので、時間の使い方が上手です。
- ・ 仕事に対する緩急の付け方が上手です。
- ・ 人に協力をしてもらうのが上手です。
- ・ 目標達成には意欲的に取り組むため、仕事の任せ方や仕事の与え方が上手です。
- ・ 人脈を作るのが上手です。
- ・ 情報を集めるのが上手です。

・ お金の使い方が上手です。……などなど。

「上手」なことを上げればきりがありませんが、これ全て少ない労力で最大限の結果を出そうとするからこそ、その能力を身につけることも惜しまないということではないでしょうか。

そう考えて私の周りの経営者や仕事のできる人を見回してみると、仕事ができるゆえの悩みなのですが、彼らはたくさんの仕事を任せられます。その分忙しいので、早く楽したい、もっと楽に仕事を進められないかと考えながら改善を繰り返し、新しいやり方を見付けたりするのが上手です。

そういう視点で見ると、あながち外れていないような気がしてなりません。みなさんの周りの、仕事のできる経営者・ビジネスパーソンを見てください。みなさんどう思いますか？

かく言う私も相当な面倒くさがりやです。最近改めてそう思ったのですが、「覚えておくのが面倒くさいので早く電話をしておこう」、「覚えておくのが面倒くさいので先にやっておこう」なんて考えた自分を見つけてしまいました(笑)

嶋津 良智(しまづ よしのり)

一般社団法人日本リーダーズ学会代表理事、リーダーズアカデミー学長。2度の株式上場体験を活かし、日本・シンガポールをはじめアジアを中心に経営コンサルとして活動。世界14都市でチャリティビジネスセミナーも開催。最強の部下を育成し、最強の組織を作ることで業績向上に寄与する独自プログラム『上司学』が好評を博す。著書15冊を執筆し、累計100万部を超えた。韓国・中国・台湾でも翻訳されている。リーダーズアカデミー Webサイト www.leaders.ac

